

14. 家計にあらわれた保健上の諸問題

山口大教育 森田 倭文

1. 家族全員の健康を保持増進することは、家庭経営の中心課題ともいふべき重要事項である。そしてそのためには衣食住各生活を合理的にし、傷病治療本位からそれを未然に防ぐ、少くとも早期にいくとめる予防衛生或は環境衛生に力を注ぐ必要がある。然しながら、実際はなかなかそうっていない。

2. 日本の中堅家庭とみてよい家計簿をつけている高校生の家庭に依頼し、家計支出の面からその実態を調べ問題点を見出そうと企てた。

3. 回答を得た全国 514世帯 (2706人) の中、約 $\frac{2}{5}$ は山口県下のものであるが、どの地域に於ても、農業家庭が最も多くの問題を持っている様である。特に食生活の不都合が数字の上に現れている。又公務員教員家庭は、農家の72%、会社員工員家庭は74%の治療費ですんで居り、その余裕を予防衛生的支出にまわしている所から見て、医療共済制度の向上徹底が切望され、小児マヒや交通事故を出した家庭の医療費が目立つ所は社会環境衛生の重要性を示している。